

福電協会報

第93号



一般社団法人 福岡電業協会
2023.1

福電協会報

第93号

◀もくじ▶

| | | |
|---------------------------|-------|----|
| 会長挨拶 | 西村 松次 | 1 |
| 祝 辞 国土交通省九州地方整備局 | | |
| 局 長 藤巻 浩之 | 2 | |
| 福岡県知事 服部 誠太郎 | 3 | |
| 福岡市長 高島 宗一郎 | 4 | |
| 新年賀詞交歓会 | 5 | |
| 施設紹介 | | |
| マリンメッセ福岡B館の紹介 | 7 | |
| 技術レポート | | |
| 電気設備の水害復旧と 対策工事についての検証 | 9 | |
| シリーズ郷土 | 志免町 | 12 |
| 職場訪問 | | |
| 株式会社 平和電興 | 14 | |
| 写真コンクール(第42回) | 15 | |
| 横顔紹介と隨筆 | 19 | |
| 事業報告 | | |
| 「技術講習会」を実施 | 26 | |
| 「実技講習会」を開催 | 27 | |
| 福電協ゴルフ大会(95回)(96回) | … 28 | |
| 委員会だより | | |
| 総務委員会 | 30 | |
| 広報委員会 | 30 | |
| 技術委員会 | 30 | |
| 事業委員会 | 31 | |
| 協会組織 | 32 | |
| 会員名簿 | 33 | |
| 役員名簿 | 35 | |

表紙のことば

この施設は、福岡市ウォーターフロント地区の国際会議など MICE 施設が集積する、ふ頭基部に展示会を中心にコンサートや会議などに利用できる多目的展示場です。

特色として感染症対策の様々な設備が施されています。

新年のご挨拶

一般社団法人 福岡電業協会

会長 西 村 次



新年、あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新しい年を迎えたことを心よりお喜び申し上げます。

昨年の電設業界では、「新型コロナウイルス」の影響により2年間延期されていました「JECAフェア」が6月に開催され、10月には、令和4年度日本電設工業協会の会員大会が東京・千葉市で無事開催され、参加することが出来ました。

福岡電業協会では、令和3年・4年度の賀詞交歓会は、開催することが出来ませんでしたが、今年は、3年ぶりに開催することができました。

また、昨年の当協会の各種講習会や事業活動は、感染対策を実施しながら開催することができました。少しづつ平常に戻りつつありますが、まだまだ今年もコロナの影響は続くと思われます。感染対策に配慮し、活動を遂行していくかなければならないと考えています。

電設業界を取り巻く環境は、円高の影響や資材や原油の価格高騰、建設資材の納期遅延など大きな変化の渦中にある中で、労働時間の上限規制の適用まであと1年余りとなりました。長時間労働の是正や働き方改革の具体化を図るなど「働き方改革」を加速させなければなりません。

これらを実現するためには、施工・発注者を含めた工事施工関係者との合意形成や雇用環境の改善、適正な工期の設定などの推進が必要あります。

特に長時間労働の是正や建設現場での週休二日制を実現するためには適正な工期の確保・設定が重要

であります。2020年10月に建設業法にて「著しく短い工期の禁止」が定められ、2021年度に日本電設工業協会にて「工期の基準の手引き」が作成されました。「無理な工期」や「しづ寄せ」低減への取組ツールとして活用していただき、業務環境の改善を実現し、人材が集まる電設業界に取り組んでいただきたいと考えております。

福岡電業協会としても働きやすく魅力ある職場にするために「働き方改革」を強力に進めてまいります。

そのほか、「人材の確保・育成」に向け、高校生を対象とした出前授業や意見交換会の実施、技能者・技術者の能力向上に向けた実技講習会や技術講習会など、各種事業活動を開催してまいります。

関係機関や関係団体との連携を図りながら、会員企業の皆様と「夢と生きがいのある電気設備業界」を目指し、電設業界の成長・発展に努力してまいりたいと考えております。

最後になりますが、本年の皆様のご健勝とご発展を祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。



年頭挨拶

国土交通省九州地方整備局

局長 藤巻 浩之



年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

一般社団法人福岡電業協会の皆さんにおかれましては、日頃より九州地方整備局が進める国土交通行政の推進にご支援、ご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

九州は海に囲まれ、中国の上海、韓国のソウルといった東アジアの大都市から500～1,000km圏内に位置しており、東アジアの概ね中心に位置しています。そのため、ゲートウェイ機能を更に強化し、恵まれた地理的環境を活かすことで、今後もアジアの経済成長を九州の産業発展に取り込むことが、ウイズ・コロナ時代の今、日本の持続的な成長と発展に向けても、ますます重要です。

九州は様々な山海の幸に恵まれた自然豊かな地域である一方で、地形・地質・気象などの自然条件から多様な災害リスクを抱えています。近年では令和2年7月豪雨による球磨川流域での災害や令和3年8月の前線停滞による北部九州での災害、記録的な勢力を保ったまま九州に上陸した昨年の台風14号での災害など、気候変動の影響が目に見えて現れています。

このため、気候変動の緩和策として、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取組みが不可欠であり、国の機関の建築物に関しては、「環境負荷低減に配慮した官庁施設の整備」「再生エネルギーの導入・利活用拡大」「木材利用の促進」などの環境対策を推進します。

また、防災拠点等となる官庁施設の整備を推進し、

大規模災害が生じた際の災害応急対策活動を円滑に行うための自家発電設備や受変電の改修など電力確保等の対策を引き続き実施します。

建設分野の生産性向上に向けて令和5年度には、DXによる変革を一層加速させる『躍進の年』として取り組んで参ります。九州の地域特性に特化したDXを実現するための行動指針等として「九州インフラDXアクションプラン」を昨年8月に策定し、メタバースの活用や災害調査のデジタル化、UAVやAIの利活用などのデジタル技術を積極的に活用し、様々な分野で産・学と連携した改革を目指します。

建設産業は、地域の守り手として、災害後の復旧・復興を担う、地域にとって欠かすことのできない産業分野であり、若者が希望を持って働き続けることができる業界となることが大変重要です。地域の建設業の維持・発展のために「新・扱い手3法」に基づく週休2日をはじめとする「働き方改革」やICT活用工事などによる「生産性向上」の取り組みを更に推進していく所存です。

最後になりましたが、本年が皆さんにとりまして、実り多い年になりますことを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭所感

福岡県知事

服部 誠太郎



新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人福岡電業協会の皆さんにおかれましては、日頃から、電気設備工事の安全かつ適正な施工に向け、技術力や保安意識の向上にご尽力いただき、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、新型コロナの爆発的感染拡大、ロシアのウクライナ軍事侵略、急激な円安など予測困難な事象によって、私たちの生活、社会経済の足元を心配しなければなりませんでした。

県では、中小企業の皆さまの事業継続支援に全力を挙げるとともに、今後も起こり得るさまざまな情勢変化に、しなやかに対応できる、強い産業経済構造をつくることを目指して取り組みを進めてまいりました。

今年も、もちろん、県民の皆さまの命と健康を守ることを最優先に取り組んでまいります。同時に、下を向かず、前を向き、世界を見て、福岡県の未来を思い描き、成長・発展の歩みをさらに一歩前に進める年にしたいと思います。

今年の干支は「卯」です。大きな耳を立てて情報をしっかりとらえ、ウサギが跳躍するように、福岡県を飛躍させてまいります。

そのためにも、重要なのは、「次代を担う『人財』の育成」です。

ICTを積極的に活用し、子どもたちにハイレベルな学びの機会を提供します。また、留学に、スポーツ・芸術に、起業に、失敗を恐れず夢に向かってチャレンジする若者を応援します。中小企業のDXの中核となる人材、最先端の半導体技術を身に付けた人材、経営感覚に優れた農業人材など、本県の産業を支え、成長させる人材を育てます。

そして、このような人材が支える福岡県を、「世

界から選ばれる福岡」にしていきます。

半導体やEV関連など、企業の立地の受け皿となる産業団地の造成を進め、戦略的な企業誘致に取り組みます。

さらに発展の基盤となる福岡空港や北九州空港の滑走路整備、北九州下関道路の早期実現に取り組んでまいります。

福岡県の飛躍のためには、将来への発展の種をまき、芽を育てることが重要です。

グリーンデバイス開発・生産拠点や、自動車のグリーン生産拠点の形成に向けた取り組みを推進するとともに、バイオ産業や宇宙ビジネス、風力発電などを、未来を切り拓く産業に成長させます。

新型コロナのような人獣共通感染症に対処していくためにも、「ワンヘルスの推進」は重要です。

農林水産物のワンヘルス認証やワンヘルス宣言事業者登録制度、ワンヘルスの森、ワンヘルスパークなどを通じて、ワンヘルスの実践を促進するとともに、本県に設置されるFAVAワンヘルス福岡オフィスと連携してワンヘルスを推進し、本県をワンヘルスの世界的先進地にしていきます。

このようにして、県民の皆さんと手を携えて未来への扉を開き、九州のリーダー県として、福岡県をさらなる飛躍と発展へと導きます。誰もが安心して、たくさんの笑顔で暮らせる福岡県にしてまいります。

貴協会と電気設備工事に携わる皆さんにおかれましては、時代が求める新しい知識と技術の習得に努められ、地域の皆さんへの安全・安心を引き続き提供していただきますようお願いいたします。

新年が皆さんにとって、素晴らしい一年となりますよう心からお祈りいたします。

年頭挨拶

福岡市長

高島 宗一郎



新年、あけましておめでとうございます。

一般社団法人福岡電業協会の皆様におかれましては、日頃より福岡市行政の推進にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年、市民の皆様にご信任いただき、引き続き、福岡市政の舵取りを担わせていただくことになりました。皆様からのご期待を背負う責任の重さに、改めて、身が引き締まる思いです。

これまで福岡市は、「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」を目指し、特に課題であった都市活力を高めるためのチャレンジを行ってきました。

その結果、国内外から「元気な都市」として評価をいただくようになったのは大変うれしいですし、市税収入も7年連続で過去最高を更新、人口も将来推計でピークとされていた160万6千人を超える163万人となり、さらに増加を続けるなど、数字からも福岡市の勢いが感じられます。

このように、「未来は変えられる」と信じて挑戦を続ければ、将来の想定を超えることは可能なのです。少子高齢化、人口減少、地方の衰退など、日本には様々な課題が横たわっていますが、それらを当然のこととして受け入れるのではなく、20年、30年先を見据え、次世代に明るい未来を引き継ぐためのチャレンジを続けていくことが重要です。

こうしたチャレンジの象徴として、福岡市では、今年から本格的に、まちづくりの長期計画である「マスタープラン」の策定をスタートします。次代を担う子どもや若者の意見も取り入れながら、市民のみ

なさんと一緒に作り上げていきます。

また、3月には、地下鉄七隈線がついに全線開通を迎えます。七隈線沿線から博多駅のアクセスが向上するとともに、都心部の渋滞や地下鉄混雑の緩和にもつながります。天神ビッグバン、博多コネクティッドでのビルの建替えも進み、福岡市が持続可能で、国際競争力の高いまちへと生まれ変わる大事な1年になると期待しています。7月には、待ちに待った世界水泳選手権がいよいよ開催されます。日本や世界が未来に踏み出すきっかけとなるよう、全力で大会を成功へと導きます。

このほか、身近な自然の魅力を高める「油山市民の森・油山牧場のリニューアル」、未来に誇れるモデル都市実現を目指す「Fukuoka Smart EAST」などのプロジェクトも着実に進めます。

市民のみなさまひとりひとりの生活の質の向上にもしっかりと取り組みます。子育て世帯への負担軽減、人生100年時代に誰もが自分らしく暮らせるまちを目指すプロジェクト「福岡100」、DXによる行政サービスの利便性向上などを進め、誰も取り残さない社会のあり方を示していきます。

こうした未来への種まきを今こそしっかりと進め、「人」、「環境」、「都市活力」が高い次元で調和したアジアのリーダー都市の実現に向けて、果敢にチャレンジしていきます。

最後に、みなさまの今年一年のご健勝とご活躍を心から祈念し、新年のあいさつとさせていただきます。

2023年度 新年賀詞交歓会

一般社団法人 福岡電業協会



(一社)福岡電業協会として2年間延期されていた「新年賀詞交歓会」が、令和5年1月10日(火曜日)ソラリア西鉄ホテルにて感染対策のもと開催された。

当日の来賓として、国土交通省九州地方整備局、経済産業省九州産業保安監督部、独立法人都市再生機構九州支社、福岡県、福岡市、福岡市議会、福岡市住宅供給公社等から多数出席頂き、正会員および賛助会員も併せて約200名の参加を得ての開催であった。

まず主催者を代表して、西村会長より、電設業界を取り巻く環境は、円高の影響や資材や原油の価格高騰、建設資材の納期遅延など大きな変化の渦中にある中で、労働時間の上限規制の適用まであと1年余りとなりました。長時間労働の是正や働き方改革の具体化を図るなど「働き方改革」を加速させなければならない。福岡電業協会としても働きやすく魅

力ある職場にするために「働き方改革」を強力に進め、「夢と生きがいのある電気設備業界」を目指し、電設業界の成長・発展に努力してまいりたいとの挨拶があった。

来賓を代表して、九州地方整備局 藤巻局長の代理として板橋営繕部長が、気候変動の緩和策として2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みが不可欠であり、国の機関の建築物に関しては、「環境負荷低減の配慮した官庁施設の配備」「再生エネルギーの導入・利活用拡大」「木材利用の推進」などの環境対策を推進する。また、建設分野の生産性向上に向けて令和5年度には、DXによる変革を一層加速させる「躍進の年」として取組んでいく。そして、地域の建設業の維持・発展のために「新・扱い手3法」に基づく週休2日をはじめとする「働き方改革」やICT活用工事などによる「生産性向上」

新年賀詞交歓会

の取組をさらに推進していくとの挨拶があった。

続いて、福岡県福部知事の代理として、商工部工業保安課 奥薗課長技術補佐が、県民の皆様と手を携えて未来への扉を開き、九州のリーダー県として、福岡県をさらなる飛躍と発展へと導きます。誰もが安心して、沢山の笑顔で暮らせる福岡県にしてまいります。貴協会と電気設備工事に携わる皆様におかれましては、時代が求める新しい知識と技術の習得に努められ、地域の皆様への安全・安心を引き続き提供していただきますようお願いいたしますとの挨拶があった。

結びに、福岡市高島市長の代理として、財務局竹廣理事より、次世代に明るい未来を引き継ぐためのチャレンジを続け、今年から本格的に、まちづくりの長期計画である「マスタートップラン」の策定をスタートします。次代を担う子どもや若者の意見も取

り入れながら、市民のみなさんと一緒に作り上げていきます。こうした未来への種まきを今こそしっかりと進め、「人」、「環境」、都市活力」が高い次元で調和したアジアのリーダー都市の実現に向けて、果敢にチャレンジしていきますとの挨拶であった。

引き続き来賓紹介の後、経済産業省九州産業保安監督部坂元部長の乾杯のご発声で祝宴となった。

各会員が3年ぶりの賀詞交歓会を和気あいあいの雰囲気で、ご来賓の皆様と新年の挨拶や会員相互の懇親を深めた。

最後に、福岡電業協会吉田副会長よりご参加の御礼及び福岡電業協会として皆様と共に問題を解決していく、兎の耳の様に情報を集約し、飛び跳ねて飛躍していきたいとの挨拶があり、万歳三唱を声高らかに執り行い盛会に終えた。

